

素晴らしい経験に感謝を

Q1. 研修に参加して良かったと思うことは何ですか？

一番大きなこととして、日本以外の国について現地に赴いて直に触れ、知ることができたことだと思います。今回の海外研修は、私にとっては初めての留学、初めての海外ということで、参加を決定する時にはやはり不安や恐れが邪魔をしてきました。海外に行く際は、確かにこうした緊張感が必須だと思います。しかし、参加する目的ということを考えたときに、「挑戦」をするということの壁を低くできるようにしたいという思いがあったので、参加するということに決めました。日本で暮らしていれば、間違いなく自分は言語的にメジャー側ですが、そこをあえて自分が言語的にマイナー側になる環境に身を置くことで、どのように対処するのか、また自身の成長を主観的にも客観的にも観察できたことだと感じています。

Q2. 研修に参加したことで、どんな力がつきましたか？ どんな点が成長したと思いますか？

以前は英語で会話することに大きな壁を感じていましたが、研修中（特に講義中）はどうしても英語を使って自分の考えを述べなければなりません。最初は聞くので精一杯でしたが、自分の考えを表現できないということを経験し、いかにそれが悔しいかを知ることができました。いきなり自分の考えや相手に伝えたいことを完璧に表現するのは無理ですから、自分のペースをしっかりと掴むことを意識して取り組むようにしました。（例えば、グループディスカッションの時になるべく最初に口を開く。講義中に発言をするなど。）着実に成長を感じました。Q1にも通じますが、英語で会話することの壁を初めて低くできた気がしますし、日本語では当たり前なのが楽しいとさえ思いました。研修から1、2週間くらい経ったある日、アルバイトをしていると外国人観光客が来店しましたが、メニューや注文の仕組みに困っている様子だったので勇気を持って英語で接客をすることができました。

Q3. 研修に参加したことで、今後の学習面と将来のキャリアに関し、どんな気づきがありましたか？

学習面や将来のキャリアに関して最も痛感したことは、とにかく知らない単語が多いということです。この知らない単語というのに加えて英語で伝える際、パッと出てくる単語と少し考えてから出てくる単語、知ってはいるはずなのに全く思い出せない単語などに分類できると気づきました。パッと出てくる単語は少ないながらも研修を通して増やせた気がしますが、やはり依然として少ないことに変わりありません。パッと会話の中で出るようにするのは中々に困難ですが、今回の研修によって英語の環境に身を置き、意識して生活すると日本にいるより早く増やせるということを実体験したので、しっかりと活かしていきたいです。その上で重要だと気づいたのは、人が使った表現を次は自分が別の場で使ってみるということです。その方が印象に残りやすく、レポーターに数えられるまでが短いと思いました。また、英語で会話することの壁が低くなる感覚を掴むことが大事だとも思いました。どれだけ意識していても、初速で遅れると機会を逃してしまいます。これは日本語脳から英語脳への切り替えにも深く影響しているのではないかという気がしました。

Q4. 研修中の一番の思い出は何ですか？

思い出はたくさんあるため、一番を決めることはかなり困難なので、特に印象に残ったものを紹介させてほしいです。というのも、休日は八人でよく出掛けていたのですが、移動時間でさえも楽しいくらいだったからです。私が最も紹介したいのは、ソープパークという遊園地に行った時のことです。子供から大人まで楽しめる絶叫系のアトラクションが豊富な施設なのですが、ジェットコースターの勢が強すぎたせいなのかわかりませんが、普通前から風がきたら唇は開いてしまうように思われますが、若干一名は逆に唇がものすごい力で窄まっている人がいました。イメージとしてはポケモンのマダツボミみたいな感じです。この時の状況が遊園地のカメラに収められたことで周知の事実となった時は本当に面白かったです。

Q5. 未来の参加者へのメッセージ（次年度以降の参加者に向けて、これだけは伝えたい！と思うことを先輩として、メッセージをお願いします。）

この研修は、1ヶ月という留学としては短期に分類される研修ですが、日本語を話せるサポーターはつきません。しかし、ケンブリッジ研修では、プログラムアシスタントのケンブリッジ大学法学部生（PA）が私たちが質問する限りできるだけわかりやすく説明してくれます。英語で。私のように海外自体がそもそも初めてという方には1ヶ月という期間で海外留学を経験できるのは非常に良い経験になると思いますし、研修先はあのケンブリッジですからね。私のように不安や恐れがあり参加をしようか悩んでいる時には、一旦頭をまっさらにして参加した方がいいです。悩んでいる時点で参加してみたいという意思は存在するわけで、それに従うのが最も有益な経験をもたらすと理解している証です。先生もPAもみんな優しいので安心してください。